

東葛飾農業事務所

川口 真穂

平成27年度入庁

農業



異動経歴

H27年採用 香取農業事務所
R2年 東葛飾農業事務所

Q1 仕事の内容を教えてください。また、現在の仕事の魅力や、やりがいを感じる瞬間について教えてください。

農業職は、栽培技術・経営の指導・助言をする「普及指導」、新品種の育成や栽培技術等を開発する「試験研究」、農業施策を企画立案する「行政」の業務に従事します。私は普及指導員として、東葛飾地域で水稻、麦、大豆の生産振興に関する仕事をしています。

農家の皆さんと接することで、今、現場で困っていることを把握し、改善に向けて取り組めることが魅力です。農業を通して人や地域が変化していく姿を見られたときにやりがいを感じます。

Q2 千葉県を選んだ理由を教えてください。

自分が育った県であり、この先も千葉県で暮らし、農業分野から千葉県民の暮らしの向上に県職員として貢献していきたいと思ったためです。

また、千葉県は、全国有数の農業県であり、やりがいのある仕事ができると感じたことから選びました。

Q3 職場の雰囲気について教えてください。

和やかな雰囲気の職場です。品目担当や地域担当といったグループ単位で仕事をすることが多く、分からないことがあったときや仕事の進め方について悩んだ時にはグループ員に相談しながら仕事を進めています。同世代の職員や女性の職員も多いため、相談しやすいです。ワークライフバランスにも配慮があり、働きやすい職場です。

Q4 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

一人で現地に行くことが多いですが、仕事を抱えないように、同じグループの職員に状況報告と相談をしながら仕事をするように心掛けています。普及指導員は幅広い知識を必要とされますが、一人で把握できる情報には限りがあります。分からないことがあった時に、職場内だけでなく、農家、市や農協等の関係機関、試験研究機関等、相談できる相手をたくさん作っておくことで、知識不足を補うようにしています。

Q 5 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

一番大変だったことは、新規集落営農組織の経営安定に向けた仕事です。基盤整備に合わせて、農地集積・集約化、施設・機械の整備、新品目・省力化技術の導入等に取り組みました。各種事業の進捗に合わせて、組織の経営を拡大していく必要があり、複数の課や関係機関と調整が必要でした。時には農家の方に厳しい意見をもらい、悩むこともありましたが、意見をよく聞き、事務所内や関係機関と相談を重ねて解決策を検討しました。

Q 6 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

県の農業をより良くするために、様々な観点から仕事ができることが魅力です。

Q 7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

首都圏でありながら、歴史的街並みや独特の文化、里山や海の景色を楽しむことができます。農業分野では、豊かな自然と大消費地や空港に近いところが魅力です。

Q 8 休日や退庁後などのリフレッシュ方法を教えてください。

家に帰りご飯を食べた後に、家族と紅茶を飲みながら話をする時間が、一番のリフレッシュです。最近、健康維持のためにジムに通い始めました。

Q 9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

今後の目標は、幅広い視野・知識を持った職員になることです。5年、10年先を見据えて、今、何に取り組むべきかを提案できる職員になりたいです。

Q 10 受験者へのメッセージをお願いします。

農業職は幅広い知識を求められますが、農業を通して、地域や県の振興につながるやりがいのある仕事です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



Schedule～わたしの一日～

8:30～ 出勤・メールチェック	14:00～16:00 新品種現地検討会の開催について
9:00～12:00 水稻栽培試験ほ場の生育調査	所内で打合せ
12:00～13:00 帰庁・昼食	16:00～17:15 電話での問い合わせ対応、現地検討会の資料作成
13:00～14:00 生育調査結果の取りまとめと報告	17:15 退庁